

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：情報デザイン演習 ILAS Seminar :Information Design Practice			担当者所属 職名・氏名	情報環境機構 准教授 小野 英理		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	12(12)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	1共21			使用言語	日本語
キーワード	情報デザイン / グラフィックデザイン / プレゼンテーション						
[授業の概要・目的]							
情報はそれを伝えられる対象にとって理解しやすいように伝えなければ成立せず、その「伝わりやすさ」を工夫することが情報デザインであると言えるだろう。 本セミナーでは主に視覚を通じた情報デザイン（グラフィックデザイン）の考え方を実践的に理解・習得することを目的とする。情報デザインの考え方は専門的なデザイン制作に限らず、各種の資料作成やプレゼンテーションなど大学生活および社会生活における様々な場面で必要となる。そこで本セミナーでは特に1回生を対象に、今後の学習や研究活動において役立つよう資料作成の考え方・手法を実践的に学ぶ。 具体的な内容としては、情報デザインの考え方について講義形式で学び、Microsoft PowerPoint等のグラフィックツールの操作方法を習得し、複数回の制作を行う。また、制作物は受講者同士で見せ合い、意見し合うことで学習効果を高める。 情報デザインで利用可能なツールは多岐に渡る。受講者各位で使用したいツールがあれば本講義の目的に合致する範囲で希望を優先する。							
[到達目標]							
情報デザインの基礎的な考え方を習得する。 情報デザインに基づいて資料を作成または改善できるようになる。							
[授業計画と内容]							
以下に基本的な流れを示すが、講義内容や制作内容を変更する可能性がある。 1. 情報デザインの基礎 2. グラフィックデザインの基礎 3. 制作[1] 4. 知的財産 5. ロジカルライティングの基礎 6. 制作[2] ポスター1 7. 制作[2] ポスター2 8. プレゼンテーションの基礎 9. 制作[3] プレゼン1 10. 制作[3] プレゼン2 11. ゲストによる講演 12. 制作[4]1 13. 制作[4]2 14. 制作[4]3 15. 発表・フィードバック・合評							
----- ILASセミナー：情報デザイン演習(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：情報デザイン演習(2)
[履修要件]
特になし
[成績評価の方法・観点]
制作物（4回）により評価する。 制作物については到達目標の達成度に基づき評価する。なお、独自の工夫が見られるものについては高い点を与える。 なお、4回以上授業を欠席した場合にはF（不合格）とする。
[教科書]
使用しない
[参考書等]
（参考書） 田中克己・黒橋禎夫[編]『情報デザイン』（共立出版, 2018）ISBN:9784320006034 ガー・レイノルズ『プレゼンテーションZen』（丸善出版, 2009）ISBN:4621306200
[授業外学修（予習・復習）等]
・メールおよびPowerPointを使えることが望ましいです。 ・PowerPoint等の利用に不安があれば復習するか、不明点を教員に質問してください。
[その他（オフィスアワー等）]
・質問があればメールにて常時連絡してください。
[実務経験のある教員による授業]
分類 実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目 当該授業科目に関連した実務経験の内容 ・研究活動に関わるグラフィックデザイン支援（研究概要図、等） ・各種学術機関のデザイン制作（ロゴ、ウェブサイト、等） 実務経験を活かした実践的な授業の内容 制作に関する各種スキル
[主要授業科目（学部・学科名）]